

WE THINGS

GOOD MANNERS DOG TRAINING

第九章
なでなで

なでなでの取り組み

なでなで

なぜか、大抵の人は犬を見ると撫でたくなる衝動にかられますよね。

その犬がいわゆる「モフモフ」であれば尚更触りたい度は上がる気がします。

科学的な研究では犬を撫でたり犬とふれあいをするとオキシトシンというホルモン物質が分泌されるという事が以前に発表されましたよね。

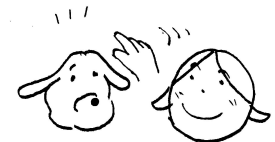
このホルモンは別名「幸せホルモン」「愛情ホルモン」などと呼ばれているそうです。

幸せな気分になる事はすぐに想像できますが、他にもストレス緩和や感染症等の予防、痛みの緩和などにも効果があると言われているようです。

ある病院では、痛みやストレスを抱える患者さんに背中等をさする事で、オキシトシンの効果を使ってそういった状態を和らげる、という事も積極的に行われているという事例もあるようです。

少しそれでしたがなるほどなあと、それなら撫でたくなる衝動も少し理解できる気がしますね。

タイトルに「なでなで」としていますが、つまり「撫でる」という事について改めて考えたいと思います。



この「撫でる」という行為ですが、地球上で考えると人間や類人猿以外の動物でこの行為を行っている動物が思い浮かばないのですが、「撫でる」という行為は全ての動物にあてはまるものではないのではないかと思います。

という事は犬もまたしかり、犬が自らする行動として「撫でる」というものが存在しないのだと思います。

人に撫でられるのが好きという犬の話はよく聞きますが、そう見える仕草をする事はあっても誰かを撫でる（触る）のが好きという犬は聞いた事がありません。

つまり、「撫でる・撫でられる」という行為はそもそも犬が知らなかった行動ということになるのではないのでしょうか。

上記のような事を頭に置いた上でここから考えてみたいと思います。

撫でられるのが好きな犬達は、撫でられている時に人間側が自分に向けて何かを話しかけていたり、自分を見つめたり関心を持ってもらう事、単純に気持ちが良いなど、嫌な思いをする経験がなく、何か自分にとって良い事があったためだと考えられます。

日常生活の中で犬が人に撫でられるのが好きで、「撫でて」と言ってくる分には問題ないのですが、こちらから撫でさせてと言ったら「それはヤダ」と言われる事があります。



それ以外にも、「ここはいいけど、そこは撫でないでほしい」という事もあるかと思います。

それよりも、こちらが「ちょっと撫でさせて」と言ったら「仕方ないな、じゃあどこでも撫でていいよ」という犬でいられた方が、人もそうですが、犬自身にとっても暮らしていく中で負担が少ないはずです。

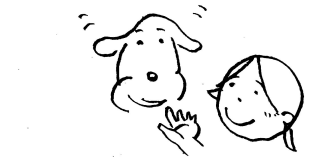
他の方にも可愛がってもらえる事として、撫でられる行為は大事なことの1つです。

また、健康診断などで獣医さんにチェックしてもらう時も、看護師さんとオーナーさんとでタグを組んで、ガチガチに自分の愛犬であるパートナーを押さえ込んでしまうなんて状況だと、やはり当のパートナーも含めてそこにいる全ての人が大変ですよ。

ですので、撫でられる（触られる）のが苦手だと思っている所から、好きになってもらわなくても、「受け入れられる」ようになってくれたら良いなという所から始めると、お互いに進みやすくなるのではと考えました。

受け入れられるようになるまでの、取り組みの中の1つの方法をご紹介しますね。

なでなでの取り組み



*流れ

- ①撫でられて（触られて）平気なところ、苦手なところを探る
- ②平気なところを撫でる（触る）時は優しく声をかけながら撫でる
※テンションを上げないように撫でる（触る）時の加減に注意
- ③苦手なところを触撫でる（触る）時はおやつをあげながら触る
- ④撫でるのをやめると同時ににおやつをあげるのもやめる

これをしばらく繰り返します。

食べながら撫でられる事に慣れて来てから次のステップに進みますが、まずはベースをしっかり固めるイメージで取り組む事をオススメします。

また、基本的にどこでも撫でられる（触られる）のが平気なタイプでも、いまは触って欲しくないという状況もありますので、そこを無視して無理矢理にならないように、しっかりとパートナーのボディランゲージや顔の表情で判断してあげてください。

POINT

<練習方法>

犬が落ち着いている時を限定して行う事をおすすめします。

<褒めるについて>

「そう、それ合ってるよ！」などの意味を込めて「いいこ」「good」や「nice」という言葉を使い、パートナーがとった行動に対して返事をしている様な感覚で使用する事を<褒める>としています。



※ご案内※

このe-Bookの内容はあくまでも一例であり、かいつまんだ内容でもあります。
実際のマンツーマン講座では、個々の状況や状態で別の方法をご提案することもあります。

ご不明な点や、うまくいかないような所も含め、詳しくは実際のコースにてご案内しておりますので、
こちらのe-Bookについては参考程度にお楽しみください。